

市長のタウンミーティング 松倉地区

(敬称略)

	開催日時	令和元年11月8日(金) 19:00~20:45
	会場	金山谷郷土文化保存伝習館
	参加人数	49名
	開会挨拶	松倉地区区長会長 松田 治之
	書記	松岡 忍

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	松倉	防災	台風の時、旧松倉小学校の体育館が避難所になっていたが水もガスもなかった。板の間だけであり、時期によっては気温が寒くなるため、御座とか毛布や水がほしい。地区で用意しなければならないのか。
2	松倉	教育環境	小学校の統合については、当初は4つに統合されると聞いていたが、現在は5つである。今後は4つになっていくのか？
3	松倉	防災	台風19号では旧松倉小学校体育館で自主避難所が開設されたが体育館は床が冷たく暖をとるところがなく、毛布、飲み物、食べ物の準備は必要だと痛感した。現在の松倉公民館は狭く、旧小学校校舎は施錠されており、備蓄するにもできない状況である。また、校舎は浸水する深さによっては避難可能階層が3階以上となっており、状況によっては、開設されないことがある。一刻も早く、旧松倉小学校校舎への公民館移設を要望する。
4	松倉	市職員の給料カット	市職員の給与カットについて、今後も続けるのか。気の毒だと思う。みんなで力を合わせて職員のベースアップをするくらいの気持ちで頑張してほしいとお願いしたい。企業誘致や観光やふるさと納税など、収入を増やす一層の努力を期待したい。また、若者からの意見が聞けないのは残念である。そういう機会をつくってほしい。
5	松倉	空家対策	菅沼地区は10件ほどの家がありその中には空き家もある。昔の家なのでケヤキを使った梁もしっかりしたよい家だと思う。空き家を、市に寄付・提供したいのだが、引き取ってもらえることはできるか。
6	松倉	観光振興	松倉城跡などに、最近、県外ナンバーの車がよく来るようになったが、武隈屋敷跡の周りの草が茂っており、少しがっかりした様子だった。市有地であるので、草を刈ってほしい。今後、市で配慮してもらえないか。

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	松倉地区	日時	11月8日(金) 19時00分より 20時45分まで		参加者数	49名
会場名	金山谷郷土文化保存伝習館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	建設課 松岡 忍	
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか		地区からの 主な参加者	区長会長、各種団体関係者ほか		

1. あいさつ

松倉地区区長会 会長 松田 治之

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・ 公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・ 職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・ 子育て支援
 - ・ 教育環境の充実
 - ・ 観光振興
 - ・ 産業振興
 - ・ 魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・ 移住・定住の促進
 - ・ 健康づくりの推進
 - ・ 誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

台風時の避難所について

台風の時、旧松倉小学校の体育館が避難所になっていたが、水もガスもなかった。地区からは10人ほど来ていたが、そこは板の間だけであり、座るところもなかった。時期によっては気温が寒くなり、御座とか毛布や水がほしい。それらのものは地区で用意しなければならないのか。そのへんのことを聞きたい。

（村椿市長）

自然災害では、従来の対応だけでは十分ではないようになってきています。避難対策の抜本的に見直しをしていかなければと思います。避難所の環境をどのようにするかなどを地域の方々と話し合ってみ直していかなければならないと思っています。

（企画総務部長）

小学校跡の体育館の避難所は、学校施設でなくなったことから、普段使われておらず、水道水など利用が難しくなっています。今後は地区と一緒にどのように対応していくか考えていきたいと思っています。毛布や水などは備蓄で3日分用意してあります。

今後は、例えば小学校体育館ではなく、この伝習館など利用するなど、より安心な場所があれば、避難所を変更するなどのこと地区の方と一緒に話し合っていきたいと思っています。

○学校統合について

小学校の統合については、当初は4つに統合されると聞いていたが、現在は5つである。今後は4つになっていくのか？

（村椿市長）

学校規模適正化計画に示されていますが、経田小と道下小については、児童数の推移をみながら、複数学級を維持できない状況になれば、その段階で統合を進めていくという計画については変わっていません。

（教育長）

平成26年度に作成した規模適正化計画では、経田小と道下小は平成35年（令和5年）度に統合する計画でありました。しかし、経田小と道下小は当時推定していたより、現状の人数の減り方は急ではなくゆるやかに減ってきている。そこを無理に進めると、いろいろと問題が出てくることも考えられます。人数の推移を見極めながら考えていきたい。ただし統合はしないというわけではなく、早かれ遅かれ行っていきたいと考えています。

（企画総務部長）

2校の統合時には道下小の校舎を利用することになっていますが、今の状態で道下小へ統合すると教室数が不足し、学校の建て増しなどの別の問題が出てきます。教室にあった生徒数になれば統合をすすめる方針には変わりはありません。

○自主避難所の状況と松倉公民館の移転について

台風19号では旧松倉小学校体育館で自主避難所が開設され、地区からも数名動員された。しかし、初めてのことで、何から行動すればよいかのかわからなかった。しかも、体育館は床が冷たく暖をとるところがなく、毛布、飲み物、食べ物の準備は必要だと痛感した。

現在の松倉公民館は狭く、旧小学校校舎は施錠されており、備蓄するにもできない状況である。また、校舎は浸水する深さによっては避難可能階層が3階以上となっており、状況によっては、開設されないことがある。一刻もはやく、旧松倉小学校校舎への公民館移設を要望する次第であります。

(村椿市長)

災害対策は待ったなしだと思います。単に公民館の移設の話だけではなく、災害対策をどうやっていくかを、もう少し具体的、現実的に地区の方たちと話し合いながら、早急に対応策を立てなければいけないと考えている。そのうえで防災施設の拠点となるような施設整備ができれば、それは公民館でも転用できると思います。そういう順番で考えていきたいと思います。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○市職員の給与カット等について

市職員の給与カットについて、今後も続けるのか。気の毒だと思う。みんなで力を合わせて職員のベースアップをするくらいの気持ちで頑張ってもらいたい。企業誘致や観光やふるさと納税など、収入を増やす一層の努力を期待したい。

また、若者からの意見が聞けないのは残念である。そういう機会をつくってほしい。

(村椿市長)

今年度の職員の給料カットは、今年だけのお願いをして協力していただいています。来年度以降は、まだ少し財源が不足していることから、その部分を他の事業をみなおすか、それでもだめなら、職員のみなさんにもう少しの間協力してもらいたいとお願いしたい。まだ、決まってはいません。職員のやる気が無くさないようにできるだけ早くこの状態をやめるようにしたいと思っています。

収入増については、ふるさと納税の効果がでているので、それをもっと進めたい。施設使用料見直しなどの取組と合わせて頑張っていきたい。

○小菅沼地区の空き家について

小菅沼地区は10件ほどの家がありその中には空き家もある。昔の家なのでケヤキを使った梁もしっかりしたよい家だと思う。空き家を、市に寄付・提供したいのだが、引き取ってもらうことはできるか。

(村椿市長)

「全くない」というお話ではないと思います。全部を市で受けることは難しいですが、物件によっては、活用できる可能性はあると思います。ご厚意をしっかりといただいて、それを利用したいという人を見つけて使ってもらおう。そうなることは十分にありえます。ものによるところであると思います。

○市有地の草刈り等について

松倉城跡などに、最近、県外ナンバーの車がよく来るようになったが、武隈屋敷跡の周りの草が茂っており、少しがっかりした様子だった。市有地であるので、草を刈ってほしい。今後、市で配慮してもらえないか。

(村椿市長)

のろし祭りのときに、松倉城やその周辺へ行ってきた。その状況は確認しています。せつかく市の資産なので、そのような取組をおこなっていきたいと思います。

ただ、単に少し整備するだけでは続かないと思います。城などの資産をいかした少し大きな地域づくりのプランのなかで、その周辺地域の資源を活かした取組を行なうことにしたほうが、その運動を支える組織作りにつながるのではないかと考えています。是非、考えていきたいと思っています